
石丸峠～大菩薩峠の尾根にて
富士山と黄葉したカラマツ

東京清掃労働組合退職者会機関紙

清友

No.206
2026年10月
（2026年10月2日発行）

東京清掃労働組合退職者会
〒102-0072　千代田区飯田橋3－9－3　SKプラザ5F
TEL 03（3237）9995　　FAX 03（3237）4541

11月10日

博物館見学ツアー

江戸東京博物館 見学とちゃんこ



お待たせしました、博物館見学ツアーのご案内を差し上げます。今年のテーマは、「江戸東京博物館見学とちゃんこ」です。

リニューアルで変わった？

「『江戸東京博物館』リニューアルしたけど、展示内容はあまり変わってないよ」という声があります。一方、「ダイナミックな映像演出や大型模型は迫力満点」との意見も。さあ、どうなんでしょう。「百聞は一見にしかず」、折角の機会ですから、みなさん、退職者会ツアーで判定してみましょう。

関東大震災コーナーは必見

一方、会が注目しているのは、「関東大震災コーナー」。18年に博物館が新たに収集した資料は850点、関東大震災被災と朝鮮人虐殺の事実を風化させないために市民が集めた資料も含まれており、軍や行政の文書、新聞などリアルな資料が展示されているとのこと。「平和」を希求する退職者会としては、このコーナーの見学は外せません。

フリー見学を原則にする予定ですが、参加者の意向によっては、一部団体行動なども視野に入れます。いわば、「あなたがつくる見学会」的な運営です。

清掃退御用達本格ちゃんこ

ツアー後半は、ランチ宴会。両国といえば「ちゃんこ」です。でも、ちょっとお高いので、退職者の身には敷居が高い？　いえいえ心配ご無用、清掃退御用達の格安本格ちゃんこがあるんです。

ご家族やご友人を誘って、是非参加ください。〈戸枝章〉



博物館見学ツアー案内

- 日　時　11月10日（火）
- 集　合　9時45分
  江戸東京博物館
  正面口1階ESL前
- 見　学　常設展
- 行　程　10時、江戸東京博物館入館
  見学開始（約2時間）
  12時30分頃からちゃんこ
  15時頃終了、解散
- 会　費　4,000円
  （見学のみの方は無料）



12月11日

秋の学習交流会

備えておこう成年後見人制度

9月実施を延期した学習会を12月11日（金）13時15分から開催します。テーマは「あれこれ決められなくなる前に！知っておこう備えておこう『成年後見人制度』」に変更しました。

『成年後見人制度』は、認知症や知的障害、精神障害などにより、財産管理や身上保護などの法的行為、不利益契約を結んでしまうなど、ひとりで決めることに不安のある方々を法的に保護する制度です。高齢者を狙った詐欺事件も多く発生しており、もしもの備えの必要性は高まっていると思います。

講師は、東京清掃顧問弁護士の岡垣豊さんにお願いします。

会員皆さんの多くの参加、よろしくお願いします。〈纐纈朗〉



来春も毎月行事を行います



来春もほぼ毎月の行事開催を計画しています。日程が概ね決まっているのは、次の二つ。

■新春の集い
＊開催日　1月23日（土）
　　11時45分開会
＊会　場　飯田橋「楼蘭」

会場は昨年と同じです。なお、会費は検討中です。

1月23日「新春の集い」決定
2月下旬「演芸鑑賞会」予定

■演芸を楽しむ会
＊寄　席　国立演芸場寄席
＊開催日　2月下旬
＊会　場　すみだトリフォニーホール

その後も、3月中旬に「学習交流会」、4月上旬に「羊山公園芝桜の丘お花見ツアー」を実施できないか検討中です。みんなで楽しみましょう。〈戸枝章〉

第2回幹事会

憲法理念実現署名の取組み、近況報告発行、弔慰金制度見直し、秋から来春までの行事計画等検討

9月18日に第2回幹事会、専門部会を開き、①憲法理念の実現を求める全国署名、②近況報告集発行、③弔慰制度見直し、④秋の行事（日帰りツアー、博物館見学、学習会）と来春の行事計画を検討・確認しました。

憲法理念実現署名の取組み

上部団体指示以外の署名の取組みは、幹事会事項としています。平和フォーラムが呼びかけ、東京清掃も実施している『いのちを見つめ平和をつなぐ、憲法理念の実現を求める全国署名』を行うことにしました。呼びかけ内容は3面に載せています。

近況報告集27を発行

「近況報告集」を例年通り発行することにしました。なお、昨年初めて作った「新春の集いひとこと集」は、次回幹事会で結論を出すことになりました。

弔慰制度見直しの検討

コロナ以降、葬儀形態の変化などにより、会員が亡くなった際、連絡が入らない、連絡があっても慰問不要、弔慰金辞退のケースがあり、昨年来、『弔慰制度』見直しの検討を行っています。見直し案の叩き台「弔慰金は、会員の葬儀などに参列した際の香典に純化する」を引続き検討することにしました。

秋から来春の行事計画

10月6日の「日帰りツアー」と11月10日の「博物館見学」実施内容を確認し、秋の学習会は12月に「成年後見人制度」をテーマに開催することとしました。

来春の行事として、「新春の集い」「演芸鑑賞会」などの実施計画を検討しました。〈纐纈朗〉



現役世代に負けながらも大健闘
東京清掃ボウリング大会に参加

9月5日、東京清掃ボウリング大会が、東京ドームボウリングセンターで、各地連代表、本部中執、青年部、退職者会から52名の仲間が集まり、開催されました。

チーム退職会は最強メンバー

退職者会のメンバーは、7月に開催したボウリング交流会の成績上位者、谷中登さん、纐纈朗さん、坂本浩明さん、鈴木唱司さん（準会員）、最強メンバー?で臨みました。


これぞ、最強メンバー？

ボールの行方に一喜一憂

団体戦と個人戦で熱戦が繰り広げられ、ストライクやスペアには、レーンを超えてハイタッチ、ガーターやスプリットのミスには励ましあい。退職者会には、「ケガがないように、無理せず頑張って！」とエールが送られました。


優勝した文京支部トロフィー授与

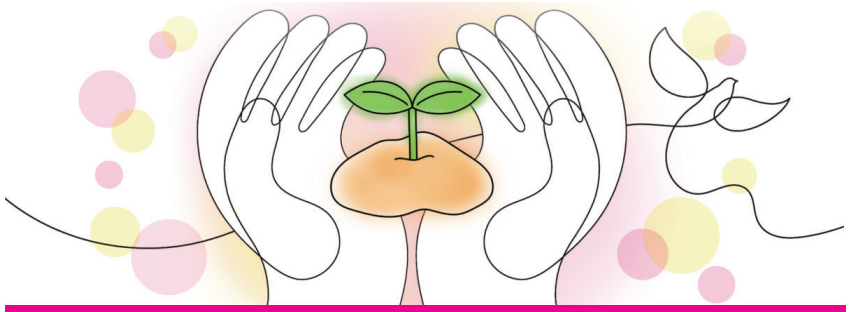
清掃会館に場所を移し表彰式&懇親会

団体戦優勝は、文京支部（2連覇）。個人戦優勝は、福家さん（板橋西）。退職者会も健闘しましたが、疲れが出てか？2ゲーム目は点数が伸びず、団体戦12位の成績でした。

来年は入賞目指すぞ？

労働組合のレク活動は、重要な取組みの一つです。退職者会も参加して、現役世代と交流できたことは良かったと思います。

体力的には不安ですが、来年も参加して入賞を狙うぞ??〈纐纈朗〉



憲法理念の実現を求める全国署名

平和フォーラムは、戦争のない国際社会の実現のために「いのちを見つめ平和をつなぐ、憲法理念の実現を求める全国署名」を実施しています。

憲法の理想と目的は達成の途上にあり、その意義は増しています。現実に慣らされて価値をおとしめさせてはいけません。いま必要なのは、改憲や軍拡ではなく、憲法の理念を大切にする社会の実現をめざす政治への転換です。

退職者会も高市政権の改憲への動きに反対し、大軍拡路線をやめさせ、市民生活を優先した社会を求め、この署名運動に積極的に参加します。

1人1枚の獲得を目標に、10月30日（金）集約の日程で取組むことを幹事会で確認しました。会員皆さんのご協力をよろしくお願いします。〈纐纈朗〉

熊本地震被災者支援カンパ
7万6千円を届けました

熊本地震の発生から、2ヶ月が過ぎました。住家被害は72300棟、いまだ1400名以上の方が避難されていると報じられ（熊本県災対本部9・29報）、依然として、多くの支援の手を必要としています。

その一助として行った被災者支援カンパは、40名、7万6千円のご協力をいただき、自治退都本部を通じて現地へ届けました。



誠にありがとうございます。

これからも熊本関連の物販協力等を含め、何んらかの形で支援したいと思います。〈戸枝章〉

地公退高齢者集会



本年度の地公三単産（自治労・日教組・全水道）地公退高齢者集会は、9月14日13時より日本教育会館で開催、東京清掃退職者会から岡澤徹会長・纐纈朗事務局長・坂本浩明幹事が参加しました。

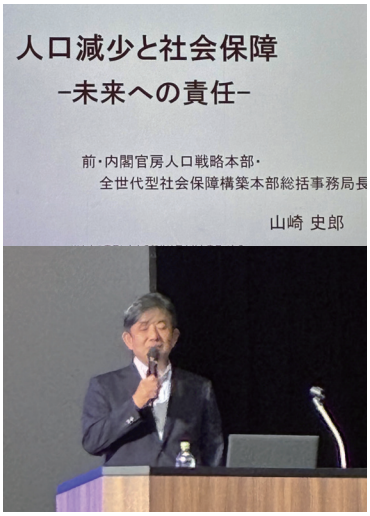
主催者と来賓の挨拶

主催者挨拶では、「世代や性別、立場の違いを乗り越え、支え合う社会を作る。安心して暮らせる社会を次世代につないでいこう。生活者優先の政策実現に向け、各地域から運動を展開する。」と決意表明がありました。

来賓挨拶では、日本退職者連合宇田川浩一事務局長が、「住み慣れた地域での楽しく健康で文化的な生活、そのための政策・仲間づくりに取り組む。」、立憲民主の岸まきこ参議院議員は、「社会保障、地方を守る観点から、国会論議に望んでいきたい。」、中道の小川淳也代表はガンバレの声援を受けながら、「なんとか生きております。三党合流は立憲でいろいろ意見があった。言い訳はしない。叱咤激励をお願いしたい。」、社民のラサール石井幹事長は「安心して暮らせる、自由にものが言える、平和である国を。」と訴えました。


参加者証拠写真

記念講演　人口減少と社会保障



基調報告案と地公退報告を確認し、全世代社会保障構築本部総括事務局長の山崎史郎さんの講演がありました。

掛け金を支払う現役VS.給付を受ける高齢者の問題ではない

「終戦後、国民皆保険・国民皆年金と努力してきたピークが1995年。その裏で当時は注目されていないない事態が起きていた。賃金が上がらない。非正規が2割から4割になる。社会保険は賃金が上がった分をリスクに回すもの。税と違い、社会保険料は誰もが給付を受けるので、低所得者でも大きく引き下げられない。税を上げない分を社会保険料がカバーしてきて、負担の逆進性が大きくなった。克服すべき問題は、現役若者対高齢者ではなく、低所得者対高所得者だ。その一歩が給付付き税額控除である。」

正社員を増やす

「人口減少にどう対処するか。子供ができると、女性がパートに変わる等で収入が落ちるリスク。短時間正社員を実現しなくてはならない。正社員はフルタイムというのは思い込みに過ぎない。東京への移動者が多いのは、女性の非正規が高く、女性は非正規だという思い込みのある地方だ。自治体の会計年度任用職員も、大きな影響がある。特にフルタイム会計年度任用職員は理解できない。社会全体を変え、引き継いでいきたい。」

講演終了後、集会宣言、スローガンを確認し、全体の団結ガンバロウで集会を終えました。

〈記事・岡澤徹、写真・纐纈朗〉





全国高齢者集会



野田退職者連合会長

全国高齢者集会が９月15日12時30分、文京シビックホールで開催され、東京清掃退職者会から岡澤徹会長と纐纈朗事務局長が参加しました。

主催者と来賓の挨拶

太鼓演奏で盛り上がったところで、退職者連合野田那智子会長の主催者代表挨拶、「世界の平和を求めて活動してきた。世界で終戦の兆しは見えず、物価にしわ寄せが来ている。傍観者でなく、声を上げたい。広島長崎沖縄の人の心を忘れず、生きている限り活動していく。」と決意を表明しました。

来賓の連合神保政史事務局長は「交渉で賃金が上がる環境整備を確立したい。来年の統一地方選挙、組織内議員当選に向け、全力を結集する。」

立憲の森本真治参議院議員、「統一地方選挙、改選現職の立憲議員全員当選、一人でも多くの新人当選を目指し、しっかり取り組んでいく。」

国民の小林さやか参議院議員、「高齢世代の安心、若年世代の安心は同じもの。世代間で奪い合いをしても、生活は豊かにならない。」

社民のラサール石井幹事長、「年寄りの冷水というが、その冷水を権力者に浴びさせて目を覚まさせよう。」、

公明党宮崎勝労働局長には、抗議のヤジが飛びました。「共同できる方々と幅広く連携し、世代を超えて支え合う社会実現に全力を尽くす。」


参加者証拠写真

講演　どうなる世界と日本


政治ジャーナリスト
星　浩さん

平和と民主主義、ジェンダー平等社会実現との基調報告の承認の後、テレビでおなじみの政治ジャーナリスト星浩さんの講演です。「戦争形態が変わってきた。ドローン・ロボットの使用、海兵隊の突撃は無意味になり、普天間は20世紀最大の遺物となる。株高、金持ちはどんどん金持ちになる。左右分断じゃない、上下の分断だ。野党の中には高市批判だけでいいという議員もいる。政権とる気迫がなくては。」

遅れてきた『中道』

講演後、遅れてきた中道小川淳也代表は、「労働者福祉を訴え続けてきた。公明党は大衆福祉を掲げてきた。ともに平和をベースとする。互いに手を取り合い、多様性を旨とするあらたな政治勢力を築きあげる。」

高校生平和大使報告



国連欧州本部訪問の報告等がありました。「国家は一見論理的だが、裏では感情がうごめく。会議は、論理だけではなく、道徳的人道的観点が必要。護憲も同じだ。」と。議論はなんでも論理的だと考えがちな年寄りには、新鮮に感じました。

憲法が保障する平和的生存権を不断の努力で未来につなぐ集会アピールを確認し、退職者連合野田会長の音頭で団結ガンバロウで集会を終えました。

〈記事・岡澤徹、写真・纐纈朗〉

抑止は安心供与が不可欠、市民の力が抑止

9月19日土曜日15時30分、国会前大集会が開催されました。シルバーウィーク初日、どうにか少雨で助かりました。今回はコールにトランプ発言に抗議し「ICC（国際刑事裁判所）を守ろう」が新たに加わりました。

安保法制強行から11年

11年前のこの日、安保法制強行採決があり、今回は節目の集会となります。各政党からは、「内閣広報費増額は自民党プロパガンダ用、ナチの手法そのもの。憲法9条は日本だけではなく世界の宝。共闘こそ力だ。」などの表明がありました。

1万5千人参加、全国で集会

安保法制廃止…市民連合の上智大学教授中野晃一さんは、「野党共闘の再建、コツコツやるしかない。政治変えるには参院選が重要。抑止というが、仮想敵を武力で威嚇すればなんとかなるという考え。軍備増強をやっているが、威嚇なのであって、戦争をする気はないということを理解させる安心供与がなくては抑止にならない。高市政権はそれをやってない。それならば、抑止と言わず、武力軍事力攻撃力の増強というべきだ。この集会には海外メディアも来て、日本の大衆は戦争をする気はないと世界に伝えている。市民の力が抑止になっている。」

99歳の参加者は、「練習機を特攻機に改造する仕事をやっていた。戦争は絶対に反対だ。」

最後に、コールで寒さを吹き飛ばし、集会を終えました。

〈記事・岡澤徹、写真・戸枝章〉

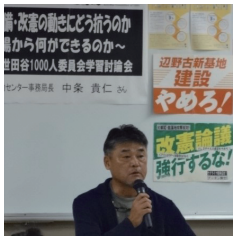


「せまりくる戦争準備・改憲の動きにどう抗うか～地域・職場から何ができるのか～」戦争をさせない世田谷1000人委員会が連続したとりくみ

先の国会で高市首相は、物価高で苦しむ国民を「消費税1％」のエサでだまし、皇室典範・国旗損壊罪など戦前のように天皇中心の軍国主義国家のもとに国民を統合する法案を成立させた。沖縄知事選など政府に楯突くものを封じ込めた成功に味をしめ「スパイ防止法」などで現代版治安維持体制づくりを狙っている。今後、安保3文書の改悪・憲法改悪にむけた動きが強まることが心配だ。



東京平和運動センター事務局長中條さん招いて学習討論会 9・4



現役区各支部の仲間4名をふくめ30名の参加。

中條さんからは、①日本が米軍と共に戦争をする体制づくり②憲法審査会③核兵器廃絶の取り組み④予備自衛官兼務特例法成立など報告。

また若者が、右傾化している政治・世論に同調しているのは、日本が過去アジア諸国に対して侵略・抑圧してきた歴史を知らないからで、私たちが粘り強く説明していく事が必要などの提起があった。

9・12小雨降る中、軍拡・改憲反対の街宣を平和フォーラムの憲法署名とともに行う。

9・14毎年恒例の実行委員会主催の「ピースアクション世田谷」、9・27「戦争させない9条こわすな区民集会」に参加。

野党のふがいなさにめげずに職場・地域から軍拡・改憲反対のとりくみを強めよう！

〈森　遵〉





原発に依存しない社会の実現を！

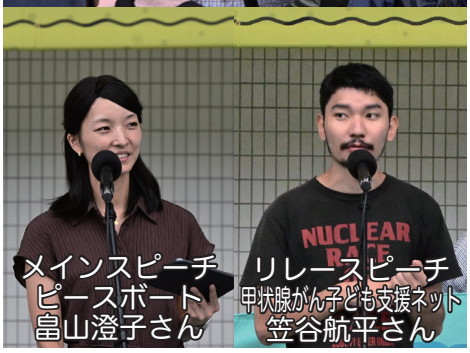
9月23日、さようなら原発全国集会が代々木公園で開催され4千人が参加しました。それに先立ち、平和フォーラム主催の集会がありました。

護憲・共生・核廃絶を求め 軍拡反対キャラバン集約集会

平和フォーラムの軍事力強化に反対する全国集会では、各地ブロックの活動報告決意表明があり、染裕之共同代表が「各ブロックの集中取り組みの集約集会として、本日全国集会を開催した。護憲、多文化共生社会、核兵器廃絶を引続き求めていく。」と話し、その後、アピールコールで集会を終えました。

核兵器も原発もいらない 再生可能エネルギー拡充を！





メインスピーチ
ピースボート
畠山澄子さん

リレースピーチ
甲状腺がん子ども支援ネット
笠谷航平さん

続いて、さようなら原発全国集会となり、主催者は、「原発は論理も整合性もない。再処理工場が稼働すれば大丈夫というのはフィクション。」と、原発回帰政策を批判。トーク発言者は、「朝起きたら核兵器が使われていたという不安が拭えない世界。気候変動、災害発生のたびに、そこに原発があったらどうなったかと思う。」「国は高レベル地層処分に前のめり、南鳥島に文献調査の申し入れ。小笠原はザトウクジラ繁殖地。海底火山噴火して軽石が沖縄まで流れる、海は繋がっている。」「農地の上に太陽光発電、農水省も推進している。」と訴えました。

若い参加者が目立ちました。

あいにくの雨の中 脱原発訴えパレード

シルバーウィークの最終日、天気予報では時々雨でしたが結構な降りとなり、その中をパレード、「原発でなく自然エネルギーを」とアピールしました。

〈記事・岡澤徹、写真・戸枝章〉

10月～11月の主な行事と行動予定



●退職者会日帰りツアー
＊日　時　10月6日（火）
＊場　所　木場車両検修場見学
木場公園BBQ
＊会　費　4千円（参加申込み可能）

◆東京清掃・狭山差別事件現地調査
＊日　時　10月11日（日）
10時00分～
＊集　合　狭山市富士見集会所
＊申込み　終了（東京清掃と相談必要）

▼第32回統一マダン東京（紹介）
＊日　時　10月11日（日）
15時00分～
＊場　所　日暮里駅前イベント広場
＊要連絡　参加した方は会へ連絡を

▼沖縄と東京北部を結ぶ集い（紹介）
＊日　時　10月17日（土）
18時30分
＊場　所　としま区民センター505会議室
＊講　演　沖縄問題学習会

▼総がかり10・19国会正門前大行動（紹介）
＊日　時　10月19日（月）
18時30分～
＊場　所　国会議事堂正門前

◆東京清掃26賃金確定第一波総決起集会
＊日　時　10月20日（火）
18時00分～
＊場　所　全電通会館（参加可）

▼狭山事件の再審を求める市民集会
＊日　時　10月29日（木）
13時00分～
＊場　所　ニッショーホール
（日本消防会館2階）

▼11・3憲法大行動
＊日　時　11月3日（火・休）
13時45分～
＊場　所　国会議事堂正門前

●博物館見学ツアー
＊日　時　11月10日（火）
＊集　合　江戸東京博1階ES前
＊会　費　4千円

▼総がかり11・19国会正門前大行動（紹介）
＊日　時　11月19日（木）
18時30分～
＊場　所　国会議事堂正門前

■東京都庁退職者会定期総会
＊日　時　11月25日（火）午後
＊場　所　都庁内の予定
＊代議員　参加可能な方は連絡を

◆東京清掃26賃金確定第三波総決起集会
＊日　時　11月（日時未公表）

●退職者会学習交流会
＊日　時　12月11日（金）午後
＊場　所　清掃会館
＊テーマ　成年後見人制度

真の生活改善に繋がる大幅賃金引上げを！

東京清掃労働組合書記長　渡辺　歩

今年も、現役世代の賃金確定闘争の時期を迎えました。闘いにあたっての課題と決意を、東京清掃渡辺書記長に寄稿していただきました。

退職者会の皆さんこんにちは！　書記長の渡辺です。退職者会の日々の活動に敬意を表します。

26賃金確定闘争は今後、10月中旬にも出される特別区人事委員会勧告を受け本格化します。今年の闘争で最大の要求に考えられる一つは「真に生活改善につながる月例給の引上げ」になるのは必須です。

昨年は、みんなの力で新業務職給料表を獲得

昨年の闘争では、この間の課題としていた「世代間の給与配分」については一定の改善がされましたが、物価高騰による組合員の厳しい生活実態を踏まえれば、実質的な改善には至っていないことから、勧告のとおりとした区長会の取扱いには不満が残るものでした。しかし、区長会との交渉では、春からの要請や協議の積み上げにより、東京都をはじめ、特別区行（一）の最低改定額を一級・二級は上回り、三級・四級については同程度の引上げが実現しました。

さらには、最大の課題と捉えていた「新たな業務職給料表の構築」について、行政職給料表との関係性も見直した上で、制度値における再任用月例給との逆転現象を解消させるとともに、単純平均で、現行給料表から平均10・4％の賃金水準を回復させた「新たな業務職給料表」を実現させました。このことは東京清掃としてかつてない大きな成果と受け止めています。

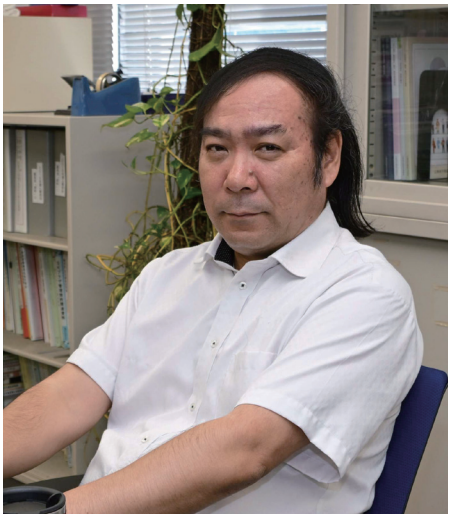
全ての世代の賃金水準向上を目指し闘いぬく

今年の闘争については、まず、昨年の闘争において、技能・業務系に係る人事・給与制度について、協議を積み重ねてきた結果、前述した「賃金水準を回復した新たな業務職給料表」の実現に加え、任用制度においても多くの改善を勝ち取りましたので、この間の課題については一定の決着が得られています。

したがって今後は、任用制度においては、制度改正の趣旨に鑑み、適切な対応が各区で図られているか、ここ数年は点検する必要があると考えています。

また、勝ち取った「新たな業務職給料表」においては、民間労組の奮闘により、早くも改善の大きな好機と捉えています。

初任給近辺の改善も確かに重要ですが、採用選考における内定辞退や離職防止の観点からも、再任用職員や60歳超職員を含む、中高年齢層のさらなる賃金水準の底上げが不可欠だと考えています。



加えて、行（一）との関係性を見直したことにより文字通り「労使交渉による賃金闘争」になりますので、単組東京清掃の力量が問われます。

回復に満足することなく、人材確保・定着の観点から、あらゆる方策を考え、すべての世代の清掃職員の賃金水準向上を目指し取組を進めていきます。

諸先輩方の激励を糧に

最後になりますが、今年の決起集会も、従前の取組を展開する予定としておりますので、退職者会からも激励のご挨拶を頂戴したいと考えています。

課題は多岐に亘り、すぐに解決できない案件もありますが、引き続き、現役世代への叱咤激励をお願いするとともに、26賃金確定も最後までの奮闘をお誓い申し上げ、雑駁ではありますが、ご報告とします。

よろしくお願いいたします。